

～メキシコ留学日記「9月号」～

見山達哉

昨日は、CEPE(メキシコ国立自治大学付属スペイン語学校)の期末試験の最終日でした。研修生は70%以上の点数を獲得しなければ、奨学金を獲得することができないため、研修生一同、緊張した面持ちでした。私は、なんとか基準の点数を取ることができ、やっと安心して長期休暇を迎えることができました。

さて、今回のレポートでは、最近観光で訪れた、メキシコのセントロにある Bellas Artes (ベジャス・アルテス宮殿)、ラテンアメリカタワーについてご紹介したいと思います。

Bellas Artes (ベジャス・アルテス宮殿)

Bellas Artes (ベジャス・アルテス宮殿)とはメキシコの中心街にあるオペラハウスです。

1901年にイタリアの建築家アダモ・ボアリによってデザインされたものであり、建物にはイタリア直輸入の白大理石が使用されています。内部には、革命期の壁画運動で知られる、ディエゴ・リベラ、ホセ・クレメンテ・オロスコ、ダヴィッド・アルファロ・シケイロスの壁画が展示されています。

ちなみに、壁画運動とは革命下のメキシコで、メキシコ人としてのアイデンティティや誇りを伝えようと起こった絵画運動です。

CEPEの歴史の授業で、メキシコの革命期の壁画運動を教えていただき、また色々な方々からメキシコといえば壁画の国だと聞いていたので、見に行ってきました。

壁画を実際に見たときは、まさに圧巻の一言でした。まず最初に、サイズの大きさに驚かされました。そして余白なくピッシリと描かれている壁画からは、革命期の画家達の熱気が絵から伝わってくるようで、とても胸が熱くなりました。また、建物の内部も非常に豪華で終始圧倒されっぱなしでした。今回見に行ったことによって、メキシコの芸術を実際に知るといって、非常に貴重な経験ができました。



(Jose Clemente Orozco の「カタルシス」)



(豪華な Bellas Artes の内装)

Torre Latinoamericana (ラテンアメリカタワー)

Bellas Artes (ベジャス・アルテス宮殿) のすぐ近くに建っているのが、Torre Latinoamericana (ラテンアメリカタワー) です。地上 44 階建てのビルで、屋上階の展望台からはメキシコシティの景色を見渡すことができます。夜景がとても美しいと評判なので、夜に訪れました。

展望台からは、果てしなく広がるメキシコシティの夜景を観ることができ、非常に感動しました。また、ライトアップされた Bellas Artes (ベジャス・アルテス宮殿) もとても美しかったです。

今回のレポートはここまでとなります。次回のレポートでは、長期休暇を利用して訪れる旅行地などについてご紹介しようと思います。



(展望台からみたライトアップされた Bellas Artes)